

平成25年度第10回鹿島区地域協議会 会議録

<地域協議会の日時・場所>

- 1 日時 平成25年12月11日(水)
開始 13:30
終了 16:45
- 2 場所 鹿島区役所 大会議室

1. 開会

■事務局

地域協議会成立要件の確認

委員数15名

【出席委員名】12名

澤田一夫、五賀和雄、松野豊喜、鈴木直門、和泉ひで子、荒邦夫
西 文子、郡俊彦、鈴木貞正、早川孝雄、前田典郎、立谷ちず子

【欠席委員名】3名

折笠寛昭、西 道典、大塚悦子

委員の過半数が出席していることにより、本会議が成立していることを確認。

2. 会長あいさつ

3. 区役所長あいさつ

4. 議事録署名人の指名

—澤田会長が、議事録署名人に早川孝雄委員と前田典郎委員を指名する。—

5. 議事

(1) 協議事項①鹿島区の地域ビジョンの策定について

・重点プロジェクトの内容の具体化

■事務局

資料説明。

○鈴木(直)委員

「短期」の期間について伺いたい。

■地域振興課長

「短期」は平成26年から概ね3年間位と考えている。

◇活力あふれるコミュニティのまち

○前田委員

小高区で実施していたデマンドタクシーについて。

○澤田会長

福島大の奥山教授の指導で、小高区は全国第1号でデマンドタクシーを導入した。たいへん小高区では好評だったようである。中心市街地に、活性化事業として提案した経過があるが、限界集落的な所であっても料金は300円位だったと記憶している。商工会で運営していたようだ。

鹿島区においても、玄関から玄関までの送り迎えを低額で実施したく、デマンド交通導入を検討したい。高齢化の時代にこそ必要な事業である。

皆さんから異論がなければ、デマンド交通を重点プロジェクトとして進めていく方向で提案したいと思う。

— 了 —

○鈴木(直)委員

仮設住宅用地の跡地事業について、中長期ではなく「短期」に対応するケースもあると考える。

千倉仮設住宅と角川原仮設住宅敷地は元々グラウンドであり、段階的にいち早く空けて運動施設を再開させたいという考え方もあり、短期に対応が必要な仮設住宅跡地もあると思われる。

移住希望者への土地の確保が足りないと思うので考えていただきたい。

また、民生委員をしており、ひとり暮らしの高齢者世帯が増加している状況がみえる。西町の仮設住宅跡地には、高齢者対象の集合型公営住宅を建設する考えなども挙げていただきたい。

加えて、西町周辺に防災備蓄倉庫も備えた統合型の広域消防鹿島分署の建設などもできればと思う。

○前田委員

仮設住宅があと何年設置されるのか分からない。短期では無理ではないか。

○鈴木(直)委員

仮設住宅も短期で終了できるものと中長期にわたって設置されるものがあると考えた。

■産業建設課長

仮設住宅は当面平成27年度までとし、公営住宅ができれば順次集約していく考えである。

○郡委員

ジンバ山周辺を住宅地として整備することについて。

○澤田会長

新聞報道で富岡町民の6.6%の人が南相馬市に移住を希望しているそうなので、住宅

地の必要性はあると感じている。

○鈴木(貞)委員

移住候補地としてジンバ山のほか、第2候補地として南柚木辺りも非常に良い。

特区制度を設けてほしい。

国道6号線に近い場外車券場周辺は、私有地ではあるが土地はたくさんある。防波堤に必要な土量も十分に出てくると思われる。

○澤田会長

防潮堤も含め土量の確保について、市はどのような方針を持っているか。

■地域振興課長

土量の確保についてはかなり厳しい状況。県が中心になり調整している。

ほ場整備の部分でも土量が足りないが、どんな土でも良いわけではない。土の質の調査をすでに行っている。

○西(文)委員

鹿島区の町なかにある公園の遊具を整備することで、子どもからお年寄りまで集まれる。

○澤田会長

柴田本屋さんから駅の方に向けて再開発をし、商店街も集積して効果ある市街地整備を要望したい。

◇地域資源を活かす産業と交流のまち

○澤田会長

商工会だけでは地域の活性化および商店街の再生は難しいので、市に空き地の集約をお願いし、幅広く人が集まって過ごせるコミュニティの場でイベントや公園を整備し、デマンド交通によって活性化に結び付けば良い。楽しみができるようなイベントも開催したいと考えている。観光協会にイベントの道具等、鹿島町から引き継いだ物が多くある。その倉庫のあつ旋をお願いしているがまだ目途が立たない。

○前田委員

集客イベントに、一本松を加えてほしい。

○澤田会長

震災の復興シンボルとして残すとともに、記念公園のような事業を提案したい。

一本松を観光に活かす。観光面にも「一本松」を加える。重複して記載して構わない。

—異議なし—

ぜひご協力をお願いしたい。

○五賀委員

現在も相当の方が見に来てくださっている。見て帰ってもらうだけでなく、産業につなげていかないと効果がない。地場産品の開発のようなものを文言に入れてもらいたい。

○澤田会長

サービスエリアのなかで、鹿島区の観光をPRし、交流拡大を期待している。松をサービスエリアの館内でPRし、こちらに足を伸ばしてもらい、経済効果に結びつけるよう商工会で商品販売できるような体制も考えている。松には期待している。

○前田委員

東日本大震災から今日で2年9か月なので、午後2時46分に黙とうを提案したい。

—黙とう—

○立谷委員

【短期】集客イベント春まつり、夏まつりの再興

街なか活性化のために子供から老人まで、一緒に過ごせる楽しいイベントが絶対必要だと思う。

まちづくり委員会からも挙がっているので、それを取り上げなければ、区民の意見を取り上げたことにならないので、ぜひ、春まつり、夏まつりを復活させていただきたいので、ぜひ重点プロジェクトとして挙げたい。

春まつりについては、衣装も全て鹿島町のときに揃えてあるはずだ。

○澤田会長

春まつりは開催しているが万葉パレードを実施していない。これまで商工会が中心となって開催しているが、区民のなかにも熱意のある方々がいる。

行政が中心になって開催するのか、商工会、観光協会が中心になるか、様々な団体との協力体制がとれれば難しい問題ではない。

■産業建設課

26年度に春まつり、夏まつりの実施に向け予算獲得に努めている。

○立谷委員

春まつりでの万葉パレードについて、ある程度人数が集まった団体を実行委員会に入れていただくために、実行委員会を立ち上げる時に手を挙げた団体に連絡はいただけるのか。

○澤田会長

間違いなく呼びかけはあると思われる。

ただし、警察署への届け出等、行列は非常に難しく、事務局をどこに置いて進めていくか。実施することに同意いただければ、次年度、早急に対応をされるよう前向きに商工会や観光協会もご協力を申し上げる。

— 了 —

◇健やかに安心して暮らせるまち

○西(文)委員

鹿島厚生病院に小児科が無い。子供が安心して住めるようにこれは重要。

○郡委員

病院の運営は、厚生連、農協関係の組織で決定することであるが、鹿島町時代には、厚生病院は町立病院の役割を持っていたことから大きな設備を設置する場合には、町も一定の負担をしてきた。総合病院化を促すための援助をするというのが市の立場かと思う。

○立谷委員

「鹿島区内の小学校単位に児童館を設置」について、子どもたちの安全を守り、子どもたちを預かる場所が必要となる。

鹿島地区まちづくり委員会で、千倉体育館の隣に、台田中の公会堂として利用した古い建物がある。その建物を壊して児童館を作ってほしいという意見があるので、提案したい。

◇地域に学び育つまち

○郡委員

「小学校の学区再編」は慎重に考えていく問題で、ビジョンに挙げることに疑問を感じる。予算効率だけで整理できないことで、人口を増やしていこうという目標に逆行する。

○澤田会長

市や教育委員会から挙げられた問題ではないので、ビジョンから外すことで良いか。

○前田委員

私は学区再編を要望したい。いずれ再編が必要になる。

○郡委員

賛否両論あるが、この問題をビジョンに盛り込むのは時期尚早なので省くことが妥当。

○澤田会長

人口を増やさなければならないという目標に向かって進むなかで、減らす意味での「学区再編」を挙げるのは大変寂しい。小学校の学区再編については削っていききたい。

○荒委員

「子どもの遊び場施設の設置」について、わんぱくキッズを鹿島区にも設置を要望したい。場所は提案できないが、ぜひ予算化してほしい。

学校での肥満対策は具体的にどのようなことを行っているか話し合っていくことが、対策につながっていくと思う。

また、パークゴルフ場の設置について、植樹祭の周辺に、駐車場1～2面ある。そこにパークゴルフ場を作ってはどうか。南右田にパークを作り、お風呂もあって、簡単な食事もできるような施設がほしい。パック料金を設定すれば観光地にもなる。

■地域振興課長

川子の灰捨て場をパークゴルフ場として利用することを電力では了承している。

ただ、そこには水道も電気も通っていないので、仮に通すとなれば莫大な費用がかかる見込み。どうしても産業廃棄物の処分場なので、国も県も永久的に使用を認めるような返事はできない。市では別の候補地を探している。パークゴルフ協会などに打診はしているものの、場所の決定までは至っていない。

○鈴木(貞)委員

相馬市も灰捨て場を利用しており、何ら差し支えないのではないかと。

○郡委員

水道を通すには費用がかかるということであるが、新たな土地利用を求めて用地費や造成費用を考えたら大した費用ではないし、灰捨て場の重金属がホコリとして飛散しなければ人体に問題はないようだ。

○澤田会長

両隣の市にコースが揃えば、パークゴルフの全国大会が開催できる。経済効果も期待できる。早急な整備を中長期ではなく、「短期」でお願いしたい。

○五賀委員

海岸に防災林、防潮堤が整備される。真野川、港、北海老海岸に整備される予定になっているので、シーサイドウォーキングコースを整備してはどうか。

○西(文)委員

サイクリングコースも要望。

○澤田会長

一本松を拠点にしながら整備。真野川両岸も合わせたシーサイドウォーキングコースの整備を字句追加。

◇安全で災害に強いまち

○五賀委員

震災を記憶するタワーと一本松を組み合わせたい。

○澤田会長

御前崎市の防災タワーを掲載。特に南右田の松の周辺には高台が無く、農業、漁業従事者のための緊急時の津波避難場所として記念公園のような形でタワーを建設できれば良いと思う。御前崎市のように大きなものは不要、人口も密集していないので、半分の規模が良い。

○松野委員

岩妻茂手線を避難道路として整備する。

○澤田会長

市で費用対効果を理由に放置している事業だと思われるが、合併前から東西の交流、道路事情が非常に悪い。西町とあさひがつながっていない。防災上、岩妻線の早急な整備をお願いしたい。

重点プロジェクトについて整理できたら1度確認したい。

6. その他

○前田委員

議員との懇談会は怎么样了。

○澤田会長

我々委員の任期が来年3月までであり、任期内の調整は難しいと思われる。

①次回地域協議会日程について

次回の地域協議会は1月中旬以降に開催予定。

7. 閉 会

以上のとおり、相違ありません。

会 長 澤 田 一 夫

会議録署名人 早 川 孝 雄

会議録署名人 前 田 典 郎